

「石巻市立地適正化計画(案)」のパブリック・コメント実施結果について

募集期間：令和6年2月19日(月)～3月8日(金)

| 項目 | ご意見 (原文のまま掲載) | | 市の考え方 |
|------------------|---|--|---|
| 拠点形成施設(誘導施設)について | <p>①、②、③、④</p> <p>※4者から4件の同内容の意見がありました。</p> | <p>私たちは、東日本大震災で被災した事業者であり、被災した石巻中心市街地で、商売をおこなっております。被災後、市の指導で、復興交付金を活用して、優良建築物等整備事業に取り組んでいます。それは、地権者が中心となった小規模な共同建替えを複数地区で連動しておこなう再開発事業で、プロジェクト名称は「石巻まちなかウエルネスタウン」です。</p> <p>復興交付金が終わり、復興交付金の内容を継承している暮らしにぎわい再生事業の建物購入資金を市と協議の上、進めることになりました。この方法は、国交省も推奨しており、国交省来年度予算要望に記載されています。 私たちの地区は、被災した建物を解体して、近々着工します。</p> <p>このプロジェクトは、56ページ59～60ページそのほか立地適正化計画の都市機能誘導施設になりますので、立地適正化計画に記載をお願いします。 具体の事業は、食と健康をテーマに、一般社団法人日本医食同源研究所(代表理事池野隆光)とともに指導をいただきながら、医師の方、メディカル専門家の方一緒に進めます。 石巻の市民が、健康になるプロジェクトです。また、仙台からも食で健康になる人たちが来石するので、賑わいの創出にもなりますし、地域の商店の活性化にもなります。これは、立地適正化計画の63ページに相当します。 建物は、最終的にすべて木造としました。カーボンニュートラル総合推進事業として、CO2の排出削減にも貢献しており、国土交通省木造先導・優良木造プロジェクト優良木造建築物等整備推進事業モデル事業として採択されており、立地適正化計画の52、53ページに相当します。耐火木造を建設するにあたって、カスケード&コンストラクションマネジメントシステムを導入しており、これも次世代のモデルです。 私たちは、先導的な事業を推進しておりますので、立地適正化計画への記載をお願いします。</p> | <p>「石巻まちなかウエルネスタウン」という個別事業を記載して欲しいとのことですが、本市の立地適正化計画については、市民の生活利便性向上に資する行政・医療・商業などの多様な分野の施設を、各拠点において目指す姿を実現する都市機能として示しているものでありますので、特定の個別事業を記載するものではありません。</p> |